

かわねほんちょう 議会だより

第62号

令和3年5月発行

発行 / 川根本町議会
編集 / 議会広報委員会



(徳山聖母保育園)

桜いっぱい たのしいな



おさんぽ 

令和3年度一般会計・特別会計……………	2～3
予算特別委員会の審査状況報告……………	4～5
3月議会で決まったこと……………	6
第一常任委員会・第二常任委員会審査報告……	7
6人の議員が町政を問う……………	8～14

シリーズ

皆さん、知っていますか？(奥大井県立自然公園) ……	15
明日を拓く人たち(天鹿(シシカミ)プロジェクト) ……	16

各課主要事業の抜粋

各課	事業名	内容	予算(千円)
総務課	常備消防委託事業	静岡市消防局川根北出張所・消防救急業務全般	199,390
企画課	まちづくり事業費	移住定住支援関連・結婚祝い、新生活関連 千年のふるさとづくり事業交付金など	20,629
情報政策課	かわねフォン運用事業	かわねフォンの管理・不具合対応	29,336
	高度情報基盤設備維持管理	設備支障対応と維持管理	14,112
暮らし環境課	路線バス対策費	町営バス路線運行管理業務委託	64,726
		デマンドタクシー運行管理業務委託	
		寸又峡路線バス運行管理業務委託	
	せせらぎ号バス購入費	9,301	
健康福祉課	新型コロナワクチン接種事業	全町民にワクチン接種を行うための全般	39,000
	医療機器整備事業	町内内科医院・歯科医院への医療機器整備	12,643
	町立保育園等運営事業	桜・三ツ星保育業務・委託児童保育業務	136,029
高齢者福祉課	介護保険事業特別会計繰出金	介護給付費・地域支援事業	162,309
	生きがい対応型デイサービス	町内2カ所の施設運営・管理業務委託	25,357
	外出支援サービス事業	高齢者の移動手手段の確保	20,941
農林課	産業振興団体活動費補助金	茶業関係団体の活動支援	7,180
	農林業センター施設管理運営	苗木の生産育成・優良種保存など	36,881
	里山林整備事業	間伐・要望伐採等	30,310
	野生鳥獣等捕獲事業	有害鳥獣駆除・防護柵・電柵など	13,415
観光商工課	まちづくり観光協会補助金	町の観光宣伝と誘客・観光案内業務	26,000
	音戯の郷施設運営事業	施設管理運営	35,597
	地域商工活性化事業	商工会活動事業費補助	14,688
建設課	北部残土処分場整備事業	公共事業の残土処分場確保	30,000
	道路維持修繕業務委託	道路小規模修繕・重機借り上げ費	17,000
教育総務課	川根高校支援全般	奥流・南麓寮・よすが苑の運営経費 公営塾運営業務委託・ その他川根高校支援全般	154,070
	ICT教育推進事業	ICT教育推進業務委託・ 教育系ネットワーク	62,714
社会教育課	文化会館運営全般	会館の運営管理・文化芸術公演・図書室 など	54,793
	資料館やまびこ運営費	管理運営等	9,993

令和3年度当初予算（特別委員会にて賛成全員で可決）

一般会計 55億3,900万円
(令和2年度 56億1,300万円)

特別会計 26億7,510万円
(令和2年度 25億7,430万円)

合計 82億1,410万円
(令和2年度 81億8,730万円)

特別会計6事業

- 国民健康保険事業
- 後期高齢者医療事業
- 介護保険事業
- 簡易水道事業
- 訪問看護事業
- いやしの里診療所事業

令和3年度一般会計当初予算は前年比7千400万円の減となり、行財政改革の努力が見られます。

町民の生活に身近な特別会計は高齢化の進む川根本町において、今後、予算は横ばい、もしくは増加傾向が続く見込みです。

町 税

区分	令和3年度	令和2年度
1 町民税	255,656	268,386
2 固定資産税	900,650	929,346
3 軽自動車税	28,780	30,025
4 町たばこ税	25,936	26,136
5 入湯税	3,176	4,999
歳入合計	1,214,198	1,258,892

一般会計目的別歳出内訳

区分	令和3年度	令和2年度
1 議会費	71,426	72,376
2 総務費	950,453	973,686
3 民生費	1,219,995	1,253,567
4 衛生費	587,309	547,675
5 労働費	1,845	1,845
6 農林水産費	409,568	396,257
7 商工費	282,939	297,812
8 土木費	326,080	340,043
9 消防費	273,224	310,436
10 教育費	842,041	797,794
11 災害復旧費	10,155	14,649
12 公債費	548,965	591,860
13 予備費	15,000	15,000
歳出合計	5,539,000	5,613,000

その他の歳入

抜粋項目	令和3年度
地方交付税	2,080,000
繰入金	710,102
町債	331,100
国庫支出金	308,361
県支出金	293,460
諸収入	147,120
地方消費税交付金	125,000

令和3年度 一般・特別会計予算総額82億1,410万円

(前年比2,680万円増)

予算特別委員会の審査状況を報告します。

審査日 3月2日～15日 ※15日(月)には現地調査実施



委員会の審査のようす

令和3年度川根本町予算特別委員会を3月に開き、3日～15日まで、担当課別に審査を行い、一般会計と6つの特別会計予算の全てを原案どおり可決としました。主な内容を抜粋して報告いたします。

一般会計

農林課

問 品評会出品者を増やす必要あり、プロジェクトチーム結成等検討されたい。
答 きめ細やかな対応が、全体の底上げになると考える、全品だけの対応でいいのかということもある。今後も様々なバランスを取りながら対応する。

建設課

問 里山林整備事業対象地区は、要望のあった地区から順次進めていく。
答 区から順次進めていく。

税務住民課

問 長期債券保有比率は、約47%である。
答 10年物地方債1本、ほとんどは20年物で、収益率の良い国債買い替えも検討中である。

問 マイナンバーカード取得のメリットは、正式な身分証明書となる。コンビニで各種証明書の取得もできる。今取得するとキャッシュレス決済で使用できる5000円分マイナポイントが付与される。

問 預金と債権の比率は、令和3年1月末、預金約53%、債券

問 小規模施設修繕業務委託には、地区要望が含まれるか、状況は。

企画課

問 空き家に、バンク登録表示をしていくのはどうか。
答 全部撤去し、了承を得た場合のみ掲示することとした。



梅地区土砂置場予定地視察

問 含まれている。小規模施設修繕とは、50万円以下の物としており、緊急性により優先順位をつけ対応している。
問 上長尾バイパス完成予定は、令和6年度末を予定している。

健康福祉課

問 社会福祉協議会事業補助金は、上長尾デイサービスセンター両方か。
答 地域福祉事業の補助で、主たる事業所は上長尾福祉センターである。社協事業は、補助事業の地域福祉事業、みどりの丘えまつ、生きがいデイサービス等委託事業、その他介護保険事業である。

問 令和3年度から新規管理者となる。計画どおり予算化した。
問 2025年以降の介護給付費見通しは、令和3年度をピークに、その後減少の見通しで、25年問題は当町は影響少ないと考える。

情報政策課

問 自治体DX推進計画の総合行政システム標準化とは。
答 主要17業務システムの標準仕様を総務省が主体で進める計画である。

社会教育課

問 地域学校協働本部のコーディネーターの役割と人選は。
答 地域と学校を結びつけるコミュニティー

総務課

問 デジタル化の進め具合は。
答 押印省略、電子媒体への移行などを今後進めていく。

問 高齢化等で管理が厳しい施設があるかと聞くと、継続頂いている。
問 消費者相談実績は、令和2年度は12件で、電力関連等があった。

問 消防局の見解変更で、点検必要施設が20から9施設に減ったためである。
問 近年自宅避難と減ったためである。

問 就学児・未就学児保護者、地域住民への説明は。
答 学校再編・地域連携形成プロセスの資料の通り、説明を行ってきた。

くらし環境課

問 委員会が路線バス停増加の意見は無いのか。
答 特になし。バス停を増やすとダイヤ

問 アンケートは、ほぼ全ての就学児・未就学児保護者に実施した。
問 学校再編のアンケート結果と本川根小学校保護者の理解は。

特別会計

後期高齢者医療事業

問 国保、後期高齢者医療の加入者数は、11月末現在、人口6,528人で、国保1,680人、25.74%、後期高齢者医療2,005人、30.71%である。

介護保険事業

問 社協の介護保険事業の状況は。
答 訪問入浴サービス・訪問介護サービスは撤退し、ケアマネ・デイサービス事業に関わっている。

簡易水道事業

問 水道委員会開催の時期が遅いのか。
答 次年度は、もっと早い時期に開催する。

いやしの里診療所事業

問 看護師の募集状況は。
答 まだ募集中である。改修工事計画は、今のところ無い。



予算特別委員会 採決のようす

▼まとめ▲

集中実施した令和3年度予算特別委員会では、連日各課長、担当職員より、予算の詳細説明を受け、委員からは多岐にわたる質疑・意見・提言が出され、町長・副町長・教育長・担当課長及び職員から回答をいただきました。
この貴重な予算が、町民のために最大限生かされることを切望いたします。
予算特別委員会
委員長 石山貴美夫

3月議会で決まったこと

教育長の任命

(同意案件)

山下 斉 氏(地名)

任期R.3.4.1)

R.3.31



条例制定

○川根本町議会議員及び

川根本町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例

※第一常任委員会付託

公職選挙法の改正に基づき条例を制定

- 選挙運動用自動車(1台分)使用の公費負担
- 選挙運動用ポスター

ピラ作成の公費負担

○川根本町観光振興センター条例

※第二常任委員会付託

自然休養村管理センターの役割を終えた。新たに観光宣伝と特産品の販売や食の提供を通じて、観光や産業振興及び交流促進を図ることで、地域経済の発展に資する目的を持った観光振興センターとして設置する。

○川根本町フォーレな

かかわね茶茗館条例

※第二常任委員会付託

設置目的の明確化と同一敷地内にある特産品館(緑の玉手箱)と茶茗館を同一施設として考え、新たな条例を設置する。

条例の一部改正

○川根本町国民健康保険条例を一部改正

新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部改正されたことに伴う条例の改正

○川根本町附属機関設置条例の一部改正

農業の総合的な振興を図るため、「川根本町農業センター運営委員会」を「川根本町農業農村振興対策委員会」に、「川根本町農業センター」の運営について、必要な事項審議及び町長に対する意見の具申に関する事項を「農業の振興及び推進に関する事務」に改める。

○川根本町国民健康保険条例の一部改正

※第一常任委員会付託
国民健康保険制度の安定的運営と年々増え

続ける医療費の伸びに対応するために、被保険者の均等割額を1万5千800円から2万円に変更する等の改正

○川根本町介護保険条例を一部改正

条文の文言の変更

条例の廃止

「川根本町自然休養村農林水産物処理加工施設条例」を廃止する。

施設の老朽化(築43年)と目的達成により条例を廃止する。

補正予算可決

○一般会計補正予算(第10号)

2億6千300万円を減額し、予算総額を77億7千270万円とする補正

歳出の残額理由

・経費の精査、入札差

金による減額

・実績見込みによる減額
歳入の減額理由

コロナ感染症拡大による事業の縮小、中止等による基金繰入金、国・県支出金等の減

繰越明許費

不測の事態により、年度内完成が見込めない事業

・高度無線環境整備推進事業費補助金
1億6千452万2千円

外10件を翌年度の事業として繰越す。

総額
2億6千893万7千円

(翌年度繰越)

○一般会計補正予算(第11号)

地域振興基金売却益利益2千870万円を追加し、予算総額を68億140万円とする。

繰越明許費

年度内の納入が見込めないため、翌年度の

事業として繰越す。

・町内医療機関感染対策スリッパ殺菌ロッカー
141万4千円

○後期高齢者医療事業特別会計

後期高齢者医療広域連合会負担金として、

93万4千円を追加し、

予算総額を1億3千429万3千円とする。

○訪問看護事業特別会計

財源更正による補正金額の変更なし。

予算総額
2千96万8千円

○いやしの里診療所事業特別会計

財源更正による補正金額の変更なし。

繰越明許費

年度内の納入が見込めないため、翌年度の



第一常任委員会審査報告

審査日 令和3年3月8日

◎「川根本町議会議員及び川根本町長の選挙における選挙運動の公費負担の関する条例の制定」について

公職選挙法、規定に基づき、自動車・ビラ・ポスターの作成の公費負担に必要事項を定めるものです。

問

町議会議員選挙の供託金が15万円になるということでしょうか。また、町長選挙における供託金の金額は。

答

町議会議員選挙については15万円、町長選挙は従来と同様に50万円である。

全員賛成で、可決。

◎「川根本町国民健康保険条例の一部を改正する条例」について

公費負担分は、業者が町に請求し、町が業者に支払うことではないのか。そのとおりである。



◎「川根本町国民健康保険条例の一部を改正する条例」について

国民健康保険対象の一人当たり医療費が

年々増加するなか、国保税は大きな改正をせずに進めてきていた。

将来の安定運営のため、町国保運営委員会より、国保税の値上げについての答申を受け、町国保条例の一部を改正するものです。

問

保険者努力支援分とは何か。

答

受診率や収納率などにより加点がされ、県からの交付金が加減される分である。

問

令和元年一人当たり医療費が、県で3位となった要因は何か。

答

前年に比較して、高額診療が増加したことによるものである。

全員賛成で、可決。

第一常任委員会

委員長 石山喜美夫

第二常任委員会審査報告

審査日 令和3年3月8日

◎「川根本町観光振興センター条例の制定」について

千頭駅前「奥大井自然休養村管理センター」を「川根本町観光振興センター」と名称を変更するほか、施設の設置や管理、用料などを定めた新たな条例を制定するもの。

◎「川根本町フォーレなかかね茶茗館条例の制定」について

同一敷地内にある二つの施設に関して定めた条例、フォーレなかかね茶茗館条例と川根本町特産品館条例を一本化し、川根本町フォーレなかかね茶茗館条例として新たに制定するもの。

問

施設の性質から大きく逸脱した貸し付けを不可とするためである。

答

特産品館の使用料はコロナ禍にあつて、減免等の申請はなかったのか。

答

実際に免除申請があつて減免した。

問

条例を全部改正して一つにする理由は。

答

同一敷地内にあつて、活用が互いに連動する2施設のため、条例を統合、整理した。

賛成多数で可決。

問

観光振興センターの指定管理者はどこか。

答

令和元年4月1日から令和4年3月31日まで、まちづくり観光協会である。

問

電気料、水道料金の支払の負担割合は。共用部分以外はそれぞれの使用者が支払っている。

答

全員賛成で可決。

問

多目的スペースや和室の貸し付け項目を省いた理由は。



春の茶茗館の全景

第二常任委員会

委員長 野口直次

一般質問

質問の概要を発言順に掲載します

9ページ 中原 緑 議員
・町の農業政策について

10ページ 澤西 省司 議員
1 川根本町の少子化問題について伺う。
2 令和3年度予算及び行財政改革について伺う。

11ページ 杉山 広充 議員
1 新型コロナウイルス禍での教育について
2 「義務教育学校」設置に関連して

12ページ 中澤 莊也 議員
1 農業振興対策について
2 鈴木町長の施政方針について

13ページ 野口 直次 議員
1 公共施設の指定管理の課題〈今後を含め〉について
2 川根本町附属機関の内容と現在ある委員会の組織のあり方について

14ページ 石山貴美夫 議員
・新年度予算の経済活性化策の重点対策について

6人の議員が町政を問う！

3月定例会最終日に一般質問を行いました

あの一般質問

どうなったただやあ〜

質問者：中澤莊也 議員

社会的弱者の暮らしを守るには

(平成29年9月定例会)

Q. グループホーム、ケアホームの整備計画は。

町長. グループホーム、ケアホームの整備計画は、平成27年度策定の川根本町第4期障がい者福祉計画において、グループホーム等の充実を図り、施設入所から地域生活への移行の推進とあるが、町内には障がい者の施設として就労継続支援B型事業所という日中支援のサービスしかなく、現状では町外のサービスを利用していただいている。今後については、引き続きグループホーム等を運営していただけるよう、町内福祉団体、NPO等に根気よく協議を進めていきたいと考えている。



グループホーム建設予定地

現 状

まつおか薬局 NPO法人を成立

障がい者の声に応じてグループホームを建設

まつおか薬局がNPOまつおかを設立。定款認証、県への届出等の作業を終了。

既に敷地の造成も終了し、令和3年の6月以降にグループホームの建設に着手する予定になっている。

今後への期待

障害を持つ人達が、両親等がなくなれた後も、町外に移住することなく、この地域において自分らしく生き生きと暮らしていくことができるものと期待できる。

問

「特産物振興事業補助金」の対象作物は

答

生産、出荷、販売ルートが示されているもの



中原 緑 議員

り町の強みの維持強化に努める。



基盤整備が進む下泉原地区

普及を行う。生産性の低い農地は有効活用策を検討する。

質問

農業を持続可能にするため、新しいことにチャレンジする農家や、新規で農業に参入したい人を応援する新しい部門が必要と考えるが、町の施策について伺う。

町長

農業経営振興会等や、新設する農業農村振興対策委員会において、意見を伺う機会を講じ、協議をし、農業振興政策を推進していきたい。

質問

「特産物振興事業補助金」の対象作物は、ゆずやブルーベリー、自然薯などが代表ですが、生産、出荷、販売ルートが示されていれば栽培種類の選択は自由か。

町長

新たな農業の担い手となる方には大変期待している。国・県の補助制度も含め、様々な補助事業を活用し支援したい。茶業中心の農業の発展には、新たな取組が必要。

農林課長

生産、出荷、販売ルートが示されているものということですので、それで収入、生業と判断できると思います。

質問

計画書に、売上げの最低ラインはあるか。

農林課長

特にないが、収入予定を入れてほしい。

質問

農業の問題は観光(景観)、空き家(移住者)等の問題と関係がある。横断的に各課が、一つのタッグを組み、関係する町内の企業や、アイデアのある人と、問題解決に取り組むのはいかがか。

企画課長

大きな連携はできていないが、移住や農業支援で、企画、農林、観光商工課、民間の方が入って情報交換して連携をとっている。

町の強みを生かすプロジェクトには「川根茶」の品質向上、販売戦略の推進、担い手育成、生産基盤強化とある。推進状況及び今後の町の計画を伺う。

町長

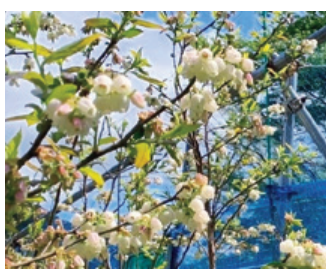
農業経営は後継者不足・機械化、省力化の遅れもあり厳しい状況。有機碾茶栽培の増加。全国茶品評会で好成绩。高級普通煎茶の産地を再認識し、PRできた。今後は経営の安定化に向け、作業効率の向上、複合作物導入等を行う。

町長

荒廃農地の再生を通じて、規模拡大を促進するための補助制度を設け、農協等と連携をし、

荒廃農地の再生を通じて、規模拡大を促進するための補助制度を設け、農協等と連携をし、

荒廃農地の再生を通じて、規模拡大を促進するための補助制度を設け、農協等と連携をし、



ブルーベリー満開 (4月・千頭地区)

町の独身の皆様に 結婚していただきたい

答 県の「ふじのくに出会い応援事業」に連携



澤西省司 議員

川根本町の少子化問題について伺う

質問

少子化問題で町の現状と対応を伺う。

町長

川根本町の令和2年度の出生数は、3月現在10人と大きく減少している。定住促進策で住宅改修補助、移住相談体制の充実、多くの子育て支援策などで、住み続けたい町づくりを目指していきたい。

質問

町の独身の皆様に、結婚をしていただくと、いう核の部分に、支援の矢が当たっていないのではないかと、また、

その部分を避けて通るわけにはいかないと思うのですが。

企画課長

来年度、静岡県が開する「ふじのくに出会い応援事業」は、サポートセンターによる直接的な接触型支援と、AIを活用したマッチングシステムなどの支援が想定され、今後、関わりの中で県と連携してこの問題に取り組んでいきたい。



質問

県が婚活支援など、お節介行政に舵を切ったように、川根本町もお節介行政に舵を切り、お節介おばさんの価値

の見直しを考え、町内には結婚推進コーディネーターが必要と思いますが。

企画課長

お節介おばさん、結婚推進コーディネーターは、独身者の方と互いの信頼関係などがあつてこそ、相談しやすい環境も構築されると思います。やはり、専門家であったほうが、的確なアドバイスが出来るのではと考えております。

令和3年度予算及び 行財政改革について

質問

私は行財政改革の努力が十分ではないと、感じているが。

町長

行財政改革には終わりはなく、事業仕分けのように事業や施設の取りやめや廃止というものでなく、現在は地

方行政の仕組みなどの見直しや、改革することが主流とされている。

総務課長

令和3年度一般会計当初予算は55億3千900万円だが、そのうち3千900万円は新型コロナウイルスワクチン接種の事業であり、実質的な予算規模は55億円であり、令和2年度と比較し、1億1千300万円の減額となっている。

これは、予算編成における厳しい事業精査によるものであり、一つの行財政改革の結果であると考えます。

人件費においても、働き方改革の推進により、時間外手当等の削減がなされ、経費削減がはかれたものと考えます。

質問

基金の積立てが一般会計予算に対して、ここ数年大変少ないが。

総務課長

予算上で取崩額を計上している今の状況からは、基金積立てを行うことは難しいが、基金の取り崩しを抑制できれば、積立てと同じ結果とも考えます。

質問

今の行政が町民を支えているように、未来の行政も町民を支える状況がそこにもあります。更に大変な行政運営を強いられる未来の営を強いられる未来の行政に、思いやりを形に残す努力をしていただきたい。

総務課長

町を運営していくための根幹である財政を司る中で、身の丈に合った持続可能な予算編成をお示しして、継続していくことが出来るような形の取り組みを進めていくことが、最も重要なことと考えております。

問

学校再編計画に関する 様々な意見への対応は

答

慎重に対応すべきとの思いから、 多くの時間を経て対応している



杉山広充 議員

804.5時間となつている。
各校への指示・指導

質問

コロナ禍でいろいろな配慮がなされ、授業が実施されてきている。

小学校6年生・中学校3年生の「年間授業日数及び実施時数」は、どれくらいであったか。また教科等において、「指導すべき目標及び内容の定着の見届け」について、年度末には、各校へどのような指示・指導をしたのか伺う。

教育総務課長

小学校6年生の授業日数は平均184.75日、実施時数は平均829.5時間であり、中学校3年生の授業日数は、平均177.5日、実施時数は、平均

質問

今年度は、授業日数が、20日から30日、時間になると150時間から180時間少ないことになる。

子供たちの学習内容の定着がどうかと担当が、調査・判断したならば、来年度の最初に、定着を図る時間を十分に確保してほしい。特に、国語・算数において。

これには抵抗を感じる学校・教師もいると思うので、教育委員会から再度指導をお願いしたい。文部科学省か

ら通知が出ている。この点を伺う。

教育長

教師は、定着度を図るために観点別に評価をきちつとしていく。その時には、全体的にどうかを教育委員会は把握している。



質問

昨年の11月、12月に実施された【川根本町立学校の今後の方向性の「さゆり幼稚園」で行われたのか伺う。

教育総務課長

日程の調整が取れなかったため、実施していません。

質問

昨年の11月、12月に「学校の今後の方向性地区説明会」実施後、2月開催の「総合教育会議」まで、「教育委員会」は開かれていない。

教育総務課長

この点について伺う。教育委員会としての意見を統一して、総合教育会議に諮るといのは、法的根拠はないかと思う。

質問

地区説明会では、「義務教育学校は、2校で良い、1校で良いという考えもある。0歳から15歳の保護者のアンケートを是非取って欲しい。」「義務教育学校を2校とする理由、通学時間、教室の数が覆ったため、そこまで戻って再検討すべき」等の意見が出された。

町長

この意見は、大変重い。住民の声について教育委員会は、十分に話し合い、再度、説明会を開くくらいの配慮があれば良かったと思う。そうして、教育委員会は総括をし、教育委員会としての見解をもち、総合教育会議に臨むべきだったと思う。

総合教育会議に至るまで、多くの時間を経て、各々の委員会等を経過している。町長として、慎重に対応をすべきという思いから、そのような方向で決断したものである。





中澤 莊也 議員

農業振興対策について

業の機械化、効率化、省力化等をどのように進めていく考えか。

町長 農業経営の安定化に向け規模拡大を行う農業者、作業の効率化のための省力化機械の導入を行う農業者への支援を行っている。

質問

増え続ける耕作放棄地の解消をどのように図る考えか。

町長

耕作放棄地は、年々増加し、景観の悪化等深刻に受け止めている。荒廃農地の再生を通じ規模拡大を促進するための補助制度を設け、地域農業の担い手である認定農業者を中心に幹旋を行っている。生産性の低い農地については、全国の事例等を参考に有効な活用策の検討を行っていく。

質問

農地の集積化、農作

町長

農業経営の安定化に向け規模拡大を行う農業者、作業の効率化のための省力化機械の導入を行う農業者への支援を行っている。

質問

農用地区域内農地の指定に際し、事前に所有者や地域の声を聴く考えはあるか。

農林課長

農用地区域の指定については、今後、定期変更を行う予定であり、国のガイドラインに従い、関係機関、地域住民等の意見を参考にしながら手続きを進めていきたいと考えている。

質問

農産物の販路拡大、農業の6次産業化をどのように進める考えか。

町長

農産物の販路拡大に



農用地区域内農地の現状

質問

新規就農者への支援と後継者の育成をどのように図る考えか。

町長

新規就農者の支援、後継者の育成については、就農前に研修機関で生産技術の取得や流通、マーケティング等の知識の取得の研修費用の支援制度もある中で、補助制度の周知をより行っていくと考えている。

鈴木町長の施政方針について

質問

川根本町の強みを活かす施策と人口減少の克服を目指す施策を中心に町長の考えを伺う。

町長

町が行う事業の全てが、町民が豊かに安心して暮らすために必要なものではないが、町が

抱える問題点や今後の発展を考えたときに特に重点を置いて取り組むべきことがいわゆる重点戦略であり、これは総合計画の策定にあたり実施した町民アンケートや町民の声を反映したものである。

合併以降、この町ならではの強みを生かした魅力向上のため、高度情報基盤整備等の大規模な基盤整備や県立川根高校の魅力化促進、多様な就労環境の創出といった新たな取り組みを進めてきました。

この投資により、様々な企業の本町進出や川根高校が県内唯一の全国公募の県立普通高校へと大きな変化を遂げるなど、町の強みを活かしながら人口減少を克服するための礎が出来上がってきたと実感している。

問

これからの社会福祉協議会と町との関わりは

答

地域福祉の実現を図る大事なパートナー。



野口直次 議員

質問

公共施設の指定管理の課題から、社会福祉協議会（社協）と町との関わり、関連性の再認識を伺う。

町長

全国的に組織された社会福祉法人で、町行政と共に町全体をフィールドに地域福祉を推進する公共的な組織である。双方にとって重要なパートナーである。福祉の拠点である川根本町福祉センターの指定管理者として事務所を構え、さらにデイサービスセンターやB型就労支援施設も管理者として福祉事業を拡大展開している。

質問

社協の設立当初の理念から現在の組織運営の考え方は大きく違ってきているのかを伺う。

町長

福祉事業や教務が多様なことに従い、町行政と社協双方の関係性において、臨機応変に関与・相談・協議しながら、適切なパートナーシップによる地域福祉実現に向け事業を展開していくことに変わりはなく。

質問

施設のなかで、指定管理料を支出している施設はどこか。

健康福祉課長

川根本町福祉センター、老人福祉センター「憩いの家いずみ」と川根本町デイサービスセンター2か所、生きがい対応型デイサービスセンター2か所と障がい者就労継続支援「みどりの丘」と「みどりの丘

質問

えまつ」となっている。指定管理者の団体運営について伺う。平成23年ごろから、訪問入浴事業、その後令和元年度、訪問介護サービス事業からも撤退。社協は事業を縮小しているとのことえます。町はその動きについて状況を確認しているか。

町長

撤退は、福祉サービス部門である。社協の根幹である地域福祉部門の縮小はない、ホームヘルパーの件は元年度のことです。社協の中で事業をどうしていくのか精査がされ結論が出た後に、町に報告された。町からは、社協へ遺憾の意を伝えた。

健康福祉課長

撤退後の対応は、どうなっているのか伺う。

質問

訪問入浴サービスは、町外の2社へ、訪

健康福祉課長

問介護サービスは「まつおか」に引き続き継承し、行っている。

質問

今後の方向性を含め、町と社協の関係、福祉サービスの維持等について、町の見解をもう一度伺う。

町長

極めて大切なパートナーですので、職員・幹部同士が、意見を交換しながら福祉事業展に取り組む。町も財政的側面の不安を抱えており、社協も同様な状況です、それぞれ関わる人が知恵を出し合っ

健康福祉課長

町が重要であると考えている。今年1月から、

その他の質問
・接叡峡温泉会館、ウッドハウスおろくぼ、町内のキャンプ場、まちづくり観光協会等の指定管理について。
・茶業振興協議会、商工観光委員会の組織の在り方等について。



川根本町福祉センター（上岸）

※掲載記事は発言議員の寄稿によるものです。

問

リニア関連の地域振興策で、 広域観光道路を!!

答

ネックレス構想、井川に抜ける環状線 要望していく。



石山貴美夫 議員

観光商工課長

国・県のコロナ対策臨時交付金など活用し経済対策を進めたい。

質問

区要望で里山整備は有難く重要だが、山城や湖上駅、井川線沿線等景観伐採による観光地魅力化もできないか。

農林課長

提案につき担当課と連携し検討したい。

質問

寸又峡の遊歩道有料化の進展状況は。

観光商工課長

地元代表と打ち合わせしている。今後、関係団体、地元と具体的な内容を進めていく予定。

質問

寸又峡入り口駐車場は、利用が無い時期、キャンプ場等で活用すれば、食事や温泉利用も合わせ、ファン作りになるのでは。

観光商工課長

オートキャンプ、グラウンディング等も選択肢だが、寸又峡は、旅館・宿泊

施設もあり、そちらへの誘客宣伝を優先したい。

質問

これからはローカル・マイクログ観光で、一見さんよりおなじみさん、遠くからより近場の方と言われるが。

観光商工課長

温泉再訪企画を進めつつ、ローカル観光促進も進めたい。

質問

大鐵駅沿線、道路等花壇がきれいに作られている、町民のこの心への感謝と奨励をどう考えているか。

観光商工課長

花の会自治会等取り組んでいただいている。苗・球根・肥料等配布等で支援していきたい。

質問

エコティかわねは、町のイメージを作り広報することで町の経済に反映させる大きな存在、期待大である。自然環境理解と資金協力を訴え基金を作り活動体制確立をすべきでは。

観光商工課長

地域活性化に欠かせない団体と考える。県の基金、創設意義をエコパーク協議会の周知を得つつ、進めていければと考える。

質問

観光地域おこし協力隊2名を採用予定だが。

観光商工課長

観光情報発信、体験・滞在型観光充実等課題解決に期待し募集したい。

質問

移住関連のネットの検索が多いとの事だが。

企画課長

コロナ禍でウェブでの発信の重要性を感じており、新鮮情報発信で充実したい。

質問

移住者と区民との関係も重要、また農地付き空き家もあり管理面等対応は。

企画課長

区行事・区費等の情報提供で、顔の見える関係に努めたい。

農林課長

空家に付随の農地情報を提供する遊休農地活用を促進する。

質問

ネット環境、無線地区の有線化状況は。

情報政策課長

4月より運営企業が変更、無線エリアがほぼ有線化され上位回線の二重化で災害強靱化、通信環境安定化が期待される。

その他の質問

・ 空き家活用、ワーケーション、農法の違いと周辺農家との関係、エコティかわね、観光の地域協力隊関連等



地域で取り組む花壇（川根大橋千頭側）

皆さん、知っていますか？

奥大井県立自然公園 (昭和43年4月1日指定)
(南部エリア)



大井川と安倍川の上流にあり、雄大な山々と美しい渓谷があります。

そして、豊富な植物（アカヤシオ・シロヤシオ・ウラジロモミ・イワカガミ・イワシャジン・イワヒバなど）が、群生しています。

また、野生生物（クマタカ・コマドリ・ニホンカモシカ・ニホンジカ・テン・イワナ・アマゴなど）が、数多く生息します。

豊かな自然に恵まれた公園です。

1 大札山、蕎麦粒山に自生している植物は、何でしょうか。



アカヤシオ

深山に自生するツツジ科の落葉低木。4月から5月にかけて可憐な花を咲かせます。



シロヤシオ

大札山、蕎麦粒山から黒法師岳に至る尾根沿いに見られ、6月から7月が見頃です。

2 八丁段 (1,562 m)、高塚山 (1,621 m) を知っていますか。



八丁段の紅葉

山犬段から約30分です。
ここからは、天竜川、駿河湾、伊豆半島が展望できます。



高塚山山頂付近

山犬段から約3時間です。
途中、シロヤシオの群生を見ることができます

3 「山犬段」付近には、公的施設があります。何でしょうか。



山犬段山小屋 (平成8年建設)



静岡大学農学部演習林宿舍 (昭和44年建設)

「林道 南赤石線」は、崩落により、令和元年4月から**通行止め**になっており、**現在、大札山・蕎麦粒山方面に行くことはできません**。早期に復旧できるように、議会としても望みます。

ご注意ください



川根本町の明日を拓く人たち

今回は、町の森林で未来の森づくりを考え活動するグループ「天鹿（シシカミ）プロジェクト」の紹介です。

シリーズ1

～「あたらしい森創りのデザイン」を川根本町から～

発起人 横山慎一郎氏（水川区）

◎天鹿（シシカミ）プロジェクトのはじまりは？

2019年にドキュメンタリー映画「みつばちと地球とわたし」が、さゆり幼稚園主催で上映された。“今、みつばちが世界的に減っている。みつばち絶滅は人類の危機”という映画のメッセージに、そこにいた誰もが強く心を打たれた。みつばちが減少した原因の一つには、“森林を自然林から人工林にしたことで、森に日が差さなくなり、下草がしげらなくなったこと”と知り、土砂崩れなどの災害や、自立できる環境の視点から、川根本町でできることは何か！自分たちにできることからはじめよう！と考えた。

そこで町内小長井区（古屋城）の山林（1.5ha）で杉ヒノキの計画伐採により、針葉樹と広葉樹の混交林のモデルづくりが決まった。

◎グループの活動内容は？

月に1回ワークデイ（計画伐採作業日）を設けている。口コミで活動に興味を持った人が自主参加。山仕事に精通したプロもいれば、林業未経験の素人もいる。リーダー（横山）の計画に沿って、材木運搬等それぞれができる作業をする。間伐した木を2m5cmに揃え、木の駅で換金してチェーンソーの燃料代などにする。

◎プロジェクトの目標は？

自然植生を育てていく“自然林模倣型”の混交林を基盤にした森創り。

※次回 「あたらしい森創りのデザイン」を川根本町から シリーズ2に続く



間伐前 密集した山林 (2020.1.19)



計画伐採後 日が差して明るい (2021.4.11)

◆ 6月定例会の予定 ◆

6月2日 (水)	9:00～	本会議（定例会・初日）
	本会議終了後	全員協議会・ 議会運営委員会
6月15日 (水)	9:00～	本会議（定例会・2日目）
	本会議終了後	議会運営委員会・ 全員協議会
6月23日 (水)	9:00～	本会議（定例会・最終日）

- 本会議場は役場本庁3階です。
- 日時は変更することもありますので、詳しくは議会事務局（56-2229）までお問い合わせください。

**議会はどなたでも傍聴できます。
ぜひ傍聴におかけください。**

●表紙の写真

（徳山地区・桃ん沢）
桜いっぱい楽しいな

暖かな穏やかな日に
園近くの桜並木道を散歩しました。

（川根高校しだれ桜）

遠くから来ている人
にたくさん出会いました。

一人の男の子が、お
父さんお母さんと楽し
そうに話をしながら歩
いていました。

杉山 広充

編集後記

新型コロナウイルスの影響で多くの春の行事が規模の縮小を余儀なくされたなか、表紙の写真に春らしい元気が子供たちを掲載することが出来て、良かったと思っています。

議会日より62号が皆様のお手元に届く頃には、新型コロナウイルス接種も進み始めた頃だと思っています。接種まで、あと少しの辛抱をお願いします。

澤西 省司

【訂正とお詫び】

2月発行の議会だより61号の2ページ、「12月議会で決まったこと」の記事において、間違いがありました。下から3段目、条例の1部を改正 *川根本町国民年金保険税条例 は、川根本町国民健康保険税条例 の誤りでした。訂正してお詫びいたします。 議会広報委員会